

青森県環境影響評価審査会の意見

(雲雀平風力発電事業に係る環境影響評価準備書)

- 1 コウモリ類について、バットストライクを低減する環境保全措置として、コウモリ類の出現回数の多い風速 3m/s 以下でフェザリングを実施することにより、バットストライクの影響は可能な限り低減されると予測しているが、高高度自動録音調査では、8月から10月にブレード回転域内の高度 50m において、風速 3m/s 台以上でも多数確認されており、施設稼働時にバットストライクが発生する可能性が高いと考えられることから、当該調査結果を踏まえて施設の稼働制限を行うなどの適切な環境保全措置を検討し、その結果を環境影響評価書に記載すること。
- 2 鳥類について、本事業及びその周辺の他事業によるガン類及びハクチョウ類の累積的年間予測衝突回数は、他の鳥類と比べて多く、施設稼働時にバードストライクが発生する可能性が高いと考えられることから、渡りの時期に施設の稼働制限を行うなどの適切な環境保全措置を検討し、その結果を環境影響評価書に記載すること。